

県内企業景気動向調査

結果の概要

調査の目的

県内に本社を置いて企業活動を営む法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しに関する判断を調査し、県内景気の動向について把握するために実施した。

調査の方法

オンライン・アンケート(761社)並びにヒアリング(28社)。
オンライン・アンケートの集計方法

すべての質問項目についてDI(Diffusion Index)値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は次の通り。

「自社の業況DI値」=(「良い」と回答した企業の割合)
 - (「悪い」と回答した企業の割合)

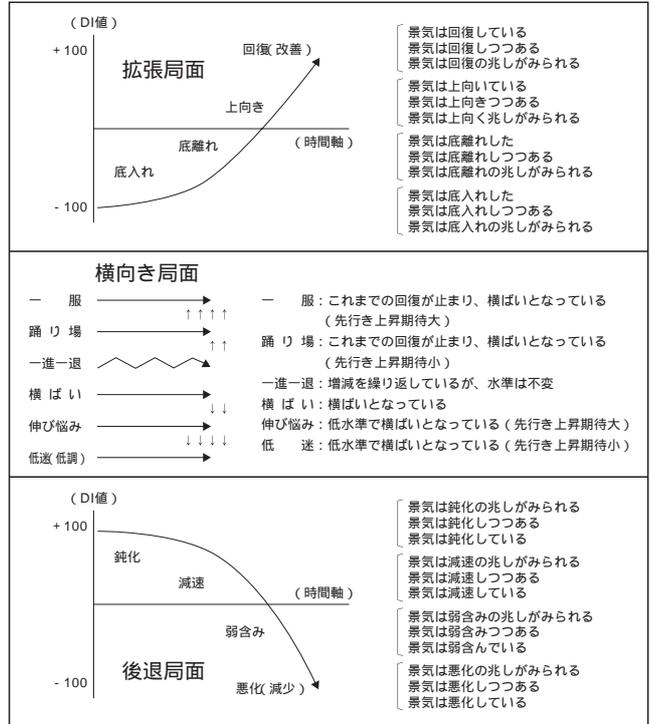
調査時点

オンライン調査:平成17年11月1日(火)~11日(金)
 ヒアリング調査:平成17年11月24日(木)~12月15日(木)

地域区分

地域名	対象となる市町村名
村山南部	山形市、上市市、山辺町、中山町
村山北部	寒河江市、村山市、天童市、東根市、尾花沢市、河北町、西川町、朝日町、大江町、大石田町
最上	新庄市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、鮭川村、戸沢村
置賜	米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、白鷹町、飯豊町
庄内田川	鶴岡市、庄内町、三川町
庄内飽海	酒田市、遊佐町

判断用語の凡例



景気の天気図

天気図とは、地域別・業種別の景気動向を見比べるため、自社の業況DI値(前期比)を5段階に分けて図解したもの。「天気図の凡例」をご参照のこと。

天気図の凡例

特に好調	好調	まあまあ	不振	きわめて不振
DI 30	30 > DI 10	10 > DI 10	10 > DI 30	30 > DI

(前回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

(今回調査)

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
山形県					
村山南部					
村山北部					
最上					
置賜					
庄内田川					
庄内飽海					

全業種（回答企業396社、回答率52.0%）

現状判断：上向く兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が4.3となっており、前回より5.8ポイント改善するなど、上向く兆しが見られる。

業種別では、前回一服感の見られた製造業で回復傾向が鮮明になったこと、また、これまで低迷していた建設業でもわずかに底入れの兆しが見られたことなどが、全体の景気を底上げした。

来期見通し：引き続き回復する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が1.0となっており、回復のペースは若干弱まるものの、引き続き回復基調を維持する見込み。

業種別では、好調な製造業で今後も回復基調を維持する見込みであること、加えて卸・小売業やサービス業でも年末・年始の繁忙期を控えて回復への期待感が高くなっている。

地域別の動向：4地域でDI値がプラスへ。

地域別では、最上と庄内田川で業況DI値がプラスに転じたことで、村山北部と庄内飽海を除く4地域でDI値がプラスとなった。

先行きの見通しは、製造業で回復への期待感が強く出た村山北部で業況DI値がプラスに転じる見込みとなったものの、最上と庄内田川で再びマイナスに転じる見込みとなるなど、一進一退の動きを見せている。

(前期比) (調査時点)	自社業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H17.08	1.5	4.2	17.1	1.5	13.9
H17.11	4.3	2.3	14.7	9.3	8.6
H18.02 (見通し)	1.0	1.5	7.5	1.3	19.5

建設業（回答企業99社、回答率54.4%）

現状判断：わずかに底入れの兆しが見られる。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が10.1となっており、前回より11.9ポイント改善するなど、わずかに底入れの兆しが見られる。

工事の受注状況は、好調な製造業の設備投資に支えられ、受注量の減少になんとか歯止めがかかっている状況。公共工事については、地域的な偏りはあるが、国等からは昨年以上に発注量がある模様。

来期見通し：再び悪化も懸念される。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が39.4となっており、再び業況の悪化も懸念される。

公共工事の発注に関しては、季節的に一段落したということもあって今後の見込みはあまり良くない。また、小ロットの工事が多いということもあり、前期からの繰り越し工事も少ない模様。手持工事高DI値は35.4となっており、悪化予想であった。

地域別の動向：置賜でDI値がプラスへ。

地域別では、置賜で唯一業況DI値がプラスに転じるなど好調さが目立ったほか、庄内田川・飽海でも低い水準ながらも改善した。

先行きの見通しは、各地域とも大幅にDI値が悪化する見込みとなるなど、今回改善の動きをみせた地域でも再び悪化の予想となった。

(前期比) (調査時点)	自社業況	業界業況	完成工事高	営業利益	手持工事高	人員・人手	資金繰り
H17.08	22.0	50.0	28.0	45.0	22.0	16.0	27.0
H17.11	10.1	46.4	17.1	34.3	8.0	18.2	26.2
H18.02 (見通し)	39.4	58.6	28.2	42.4	35.4	13.1	39.4

← 景気動向を図解!! →

製造業（回答企業127社、回答率62.6%）

現状判断：回復している。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が15.0となっており、前回より6.4ポイント改善するなど、回復している。

引き続き販売が好調で、売上高DI値も8.7となるなど、前回より7.9ポイント改善した。ヒアリングにおいても、特に輸送関連業種を中心に「過去最高益」や「創業以来初の売上高」といった言葉が聞かれた。

来期見通し：引き続き回復する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が23.6となっており、引き続き回復するとの見方が趨勢を占めている。

輸送機械関連業種で引き続き好調を維持するほか、その波及効果によって一般機械・電気機械関連業種でも概ね好調となる見込み。また、食品製造、印刷業等の軽工業分野でも多くの企業が改善予想となった。

地域別の動向：村山北部で低調も、見通しは良好。

地域別では、村山北部で前回より業況DI値が悪化するなど、低調な動きとなったが、そのほかの地域ではDI値がプラスとなっており、地域の景気を底上げしている。

来期の見通しも、ほとんどの地域で引き続き改善、もしくはプラスを維持する予想となるなど、見通しは良好であった。

（前期比） （調査時点）	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
H17.08	8.6	10.3	0.8	8.6	51.3	4.3	1.7	9.4
H17.11	15.0	2.3	8.7	0.8	44.9	10.2	7.1	3.1
H18.02 （見通し）	23.6	9.4	26.0	16.6	38.6	19.7	7.9	11.0

卸・小売業（回答企業88社、回答率47.6%）

現状判断：横ばいで推移している。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が6.8となっており、前回より0.3ポイント改善するなど、概ね横ばいとなっている。

ただ、全体的に回復感はあるものの、売上高や営業利益等の各DI値を見てみると、いずれも前回より悪化しており、回復感のみが先行する結果となった。

来期見通し：引き続き横ばいで推移する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が4.5となっており、今期と比べると幾分回復感は弱まるものの、横ばいで推移する見込み。

しばらく製造業の好調さが続く見込みであり、設備投資に付随する機械・器具卸は好調を維持する。また、昨年と比べて冬物の出だしが好調であるなど、食品・衣料・日用雑貨等についても堅調に推移する見込み。

地域別の動向：庄内飽海の悪化が目立つ。

地域別では、庄内飽海の業況DI値が33.3となるなど、前回より26.6ポイントの大幅な悪化となったほかは、概ね全地域でプラスであった。庄内飽海は三川町の大型ショッピングセンターのオープンによる影響が出た模様。

来期の見通しは、庄内田川・飽海で低調となったが、そのほかの地域では引き続き堅調に推移する見込み。

（前期比） （調査時点）	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	仕入価格	在庫状況	人員・人手	資金繰り
H17.08	6.5	13.9	15.1	6.5	28.0	7.6	2.2	5.4
H17.11	6.8	17.0	1.1	17.0	38.7	2.2	1.1	15.9
H18.02 （見通し）	4.5	9.1	3.4	3.4	30.6	29.5	6.8	20.5

各業種別分析

現在とこれからを徹底調査!!

サービス業（回答企業82社、回答率42.9%）

特別調査：冬季ボーナス支給予定額の動向について

現状判断：横ばいで推移している。

業況は、自社の業況DI値（前期比）が2.5となっており、前回より2.5ポイント改善するなど、わずかに上向きつつも横ばいで推移している。

ただ、対個人サービス業と対事業所サービス業の業況DI値は前者が12.5、後者が18.0と相当な格差があり、サービス関連財についても個人消費はまだまだ回復感に乏しいという印象であった。

来期見通し：引き続き横ばいで推移する見込み。

業況の先行き見通しは、自社の業況DI値が11.0の改善予想となっているものの、引き続き横ばいで推移する見込み。

売上高や営業利益等の各DI値を見てみると、いずれも目立った改善が見込みがたいことから、回復への期待感が強く表れた模様。年末・年始の繁忙期を考慮すれば、あくまで季節変動の一部であると思われる。

地域別の動向：村山南部で好調。

地域別では、村山南部と庄内田川で業況DI値がプラスとなるなど、他の地域と比べて好調さが目立った。特に、村山南部では大型のコンベンションが続いたことから、旅館・ホテルが好調だった。

来期の見通しは、村山南部・北部と庄内田川の3地域で業況DI値がプラスとなったが、それ以外の地域ではマイナスの予想であった。

（前期比） （調査時点）	自社業況	業界業況	売上高	営業利益	人員・人手	資金繰り
H17.08	0.0	24.5	4.3	8.6	11.7	13.8
H17.11	2.5	23.2	2.5	9.7	11.0	2.4
H18.02 （見通し）	11.0	17.1	2.4	7.3	4.9	7.3

支給予定額は「減らす」超。

景気回復に向けて不安材料に。

冬季ボーナス支給予定額の動向は、「増やす」と回答した企業から「減らす」と回答した企業の割合を差し引いたDI値でみて、全業種の支給予定総額は昨年冬季比12.4、夏季比8.1となっており、いずれも「減らす」超。また、従業員1人あたり支給予定額についても、全業種で昨年冬季比9.8、夏季比5.3となっており、同様に「減らす」超であった。

一方、業種別の動向は、卸・小売業で1人あたり支給予定額が夏季比4.5となり、唯一「増やす」超となったものの、それ以外の業種では支給予定総額、1人あたり支給予定額ともに「減らす」超であった。

ボーナス支給予定総額の動向（DI値）

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
昨年冬季比	12.4	26.3	6.3	3.4	14.6
夏季比	8.1	21.2	0.8	1.1	11.0

1人あたりボーナス支給予定額の動向（DI値）

	全業種	建設業	製造業	卸・小売業	サービス業
昨年冬季比	9.8	20.2	4.7	1.1	14.6
夏季比	5.3	16.2	0.0	4.5	11.0

（注）このレポートは、弊社の会員向けサービスの一環として実施している「県内企業景気動向調査」（確報版）の概要です。詳しい内容をご覧になりたい方は、会員専用ホームページ（<http://www.sfsi.co.jp/>）へアクセスしてください。

なお、レポートの内容に関するご質問は下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

研究開発グループ 熊本・齋藤（信）

TEL：023(626)9017

e-mail：fns@sfsi.co.jp